

コートラック用経腸栄養チューブ

品番	品名	入数
AJ-CT0809	コートラック用経腸栄養チューブ (スタイレット付) 8FR, 91cm	10本
AJ-CT0810	コートラック用経腸栄養チューブ (スタイレット付) 8FR, 109cm	10本
AJ-CT0814	コートラック用経腸栄養チューブ (スタイレット付) 8FR, 140cm	10本
AJ-CT1009	コートラック用経腸栄養チューブ (スタイレット付) 10FR, 91cm	10本
AJ-CT1010	コートラック用経腸栄養チューブ (スタイレット付) 10FR, 109cm	10本
AJ-CT1014	コートラック用経腸栄養チューブ (スタイレット付) 10FR, 140cm	10本
AJ-CT1209	コートラック用経腸栄養チューブ (スタイレット付) 12FR, 91cm	10本

*全て接続部はEnFit® Connectorとなります

コートラック本体及び周辺製品

品番	品名	入数
AJ-CU0950	メインユニット	1台
	スマートレシーバーユニット	1台
	中間ケーブル	1本
	ACアダプタ (電源コードセットを含む)	1セット
	内蔵リチウムイオンバッテリー (メインユニット用)	1個
AJ-CU0920	スタンド	1台
AJ-CU0928	プリンタ	1台
AJ-CU0926	プリンタ用内蔵リチウムイオンバッテリー	1個
AJ-CU0929	プリンタ用リチウムイオンバッテリー充電器 (ACアダプタ及び電源コードセットを含む)	1台
AJ-CU0911	プリンタ用ラベルロール * 1ロール使用目安 125回分	3ロール
AJ-CU0951	スタビライザー	1個
	角度調整器	1個
	USBメモリ	1個
	スタイラスペン	1本
AJ-CU0930	レシーバー防護カバー * 1ロール使用目安 25回分	4ロール

一般名称：経腸栄養チューブ挿入追跡装置
医療機器承認番号：22800BZX00142

販売名：コートラック
特定保守管理医療機器

一般名称：食道経由経腸栄養用チューブ
医療機器承認番号：22800BZX00308

販売名：コートラック用経腸栄養チューブ

チューブ先端を追跡する応答性：2秒以内

CORTRAK* 2

Enteral Access System (EAS)



CORTRAK* 2

Enteral Access System (EAS)

米国 FDA に最初に認可された経腸栄養チューブ挿入追跡装置、コートラックは類似装置の中で最も長い販売実績があります。経腸栄養チューブ挿入時にチューブの先端位置をリアルタイムで追跡することができる日本国内で唯一の装置*です。より安全な経腸栄養チューブ留置をサポートします。

*2020年2月時点



モニター・ユニット

「スマート・レシーバー・ユニット (SRU)」から情報を受け取り、体内のカテーテル位置をリアルタイムに視覚化します。

CONFIRMATION WITHOUT DELAY



スマート・レシーバー・ユニット (SRU)

患者の体外部に配置し、「コートラック用経腸栄養チューブ」先端部のトランスミッターから信号を受信します。



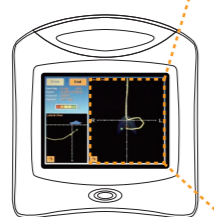
コートラック用経腸栄養チューブ

先端内部にトランスミッターを搭載しており、「スマート・レシーバー・ユニット (SRU)」へ信号を送ります。

空腸留置をサポートする2大機能

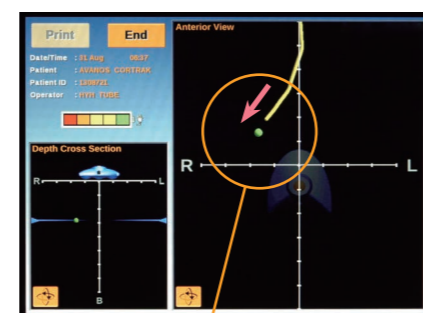
01 | リアルタイム機能

よりスピーディーなカテーテル留置をサポートするためにコートラックは「リアルタイム」機能を搭載。留置位置を直感的にイメージできるコートラックの Anterior View (アンテリアビュー) では「リアルタイム」機能によって術者が肺などへの誤挿入を予測、臨床的判断をサポートし、誤挿入リスクを軽減します。



▲アンテリアビュー

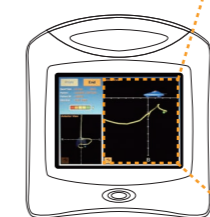
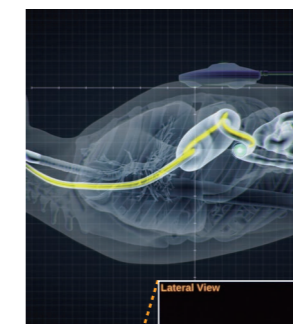
肺への誤挿入例



肺への誤挿入時には、先端ポイントが中心のガイドラインから逸れて動いていくので、「リアルタイム」機能により術者への予測・臨床的判断をサポートします。

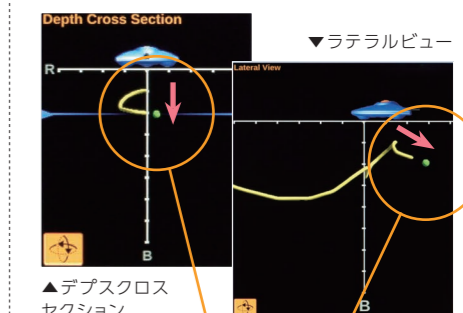
02 | 三次元トラッキング機能

難易度が高いとされる空腸への留置では「三次元トラッキング」機能によって、より立体的に視覚サポートを行います。幽門部付近では幽門通過の指標となる視覚情報を提供。Lateral View (ラテラルビュー) では胃と十二指腸の形状に沿って先端ポイントが下降し、術者がチューブを適切に空腸へと導けるよう視覚的なサポートを行います。



▲ラテラルビュー

幽門通過の指標



幽門通過時には胃と十二指腸の形状に沿って先端ポイントが下降するので、術者がチューブを適切に空腸に導けるよう視覚的なサポートを行うことが可能です。